



## ラオス・クリーン農業開発プロジェクト

# クリーン農業ニュースレター

第12号 2021年2月発行

このプロジェクトは5年間（2017-2022）の JICA による技術協力プロジェクトで、ビエンチャン市、ルアンパバーン県、サイヤブリ県及びシェンクワン県の4つのパイロット県を対象としています。プロジェクトは、パイロット県における市場ニーズに基づくクリーン農業（有機農業及び GAP）の推進を目的として活動しています。

### 最近のトピックス

#### 1. 土壌病害虫対策:「太陽熱土壌消毒+土ごと発酵」の On the Job Training (OJT)を実施

2月11日（木）にカウンターパート機関である農業局クリーン農業基準センター（CASC）の圃場で「太陽熱土壌消毒+土ごと発酵」について OJT を実施しました。約10名の CASC 職員が午前の講義及び午後の実習に参加しました。有機農業を推奨する本プロジェクトでは土壌消毒薬剤であるクロルピクリンやデトラペックスなどは使用できないため、圃場環境に優しい「太陽熱土壌消毒」を実施しました。また「現代農業」でも紹介されている「米ぬかによる土ごと発酵」を同時に実施することで、有効微生物である乳酸菌や酵母菌などを増加させる効果があり且つ土壌の団粒化を促進するミミズの増殖効果も期待できます。



基肥を施肥した後に米ぬかを撒く CASC 職員

今後これらを含む普及予定の営農技術は CASC 職員への OJT を通じた習得と、CASC 職員による技術マニュアルの作成。そして作成したマニュアルと圃場での実施経験を基にした CASC 職員による農家への OJT による技術普及を図ることが狙いとなり

ます。CASC 職員と共に汗を流しながら彼らの頑張りに期待したいと思います。



耕耘・畝立て・灌水後にビニール被覆を行う CASC 職員

#### 2. 第3回 JCC（合同調整委員会）の開催

2月17日（水）にビエンチャン市のランドマーク・メコンリバーサイド・ホテルで第3回 JCC を開催しました。当初2020年の5月に開催予定でしたが、COVID-19の影響により延期となり2019年2月以来2年ぶりの開催になりました。当日はオンラインで JICA 本部と接続しましたが、大きな問題はなくスムーズに進めることができました。

PDM の改定案が説明され承認されると同時に、過去2年の活動報告、及び今後の活動イメージが参加者に共有されました。共有された今後の活動イメージを次ページに取りまとめています。



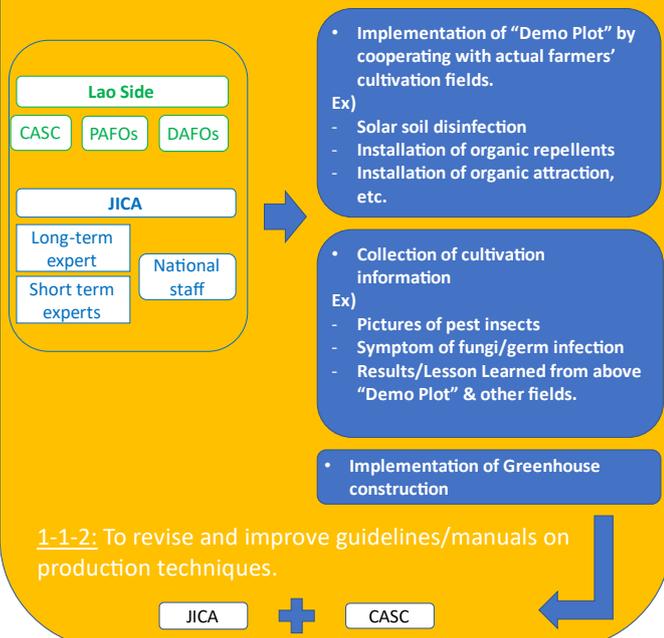
第3回 JCC の集合写真

### Image of Activity on Output 1

#### Activity 1-1:

Improvement of production techniques and their dissemination

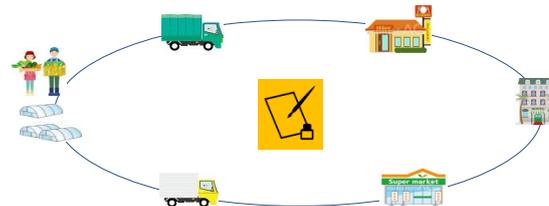
**1-1-1:** To improve production techniques (soil management, cultivation, IPM, post harvesting, etc.)



### Image of Activity on Output 2

#### 2-1: Diversification and expansion of sales channel

- 1) To identify farmer groups, distributors, retailers, etc. for model supply chain/FVC
- 2) To assist in match-making activities.
- 3) To enlighten distributors and retailers, etc. on CA products.



#### 2-2: Strengthening OA markets

- 1) To identify the situation of the OA markets.
- 2) To improve location, number, operation hours, sales method, etc.

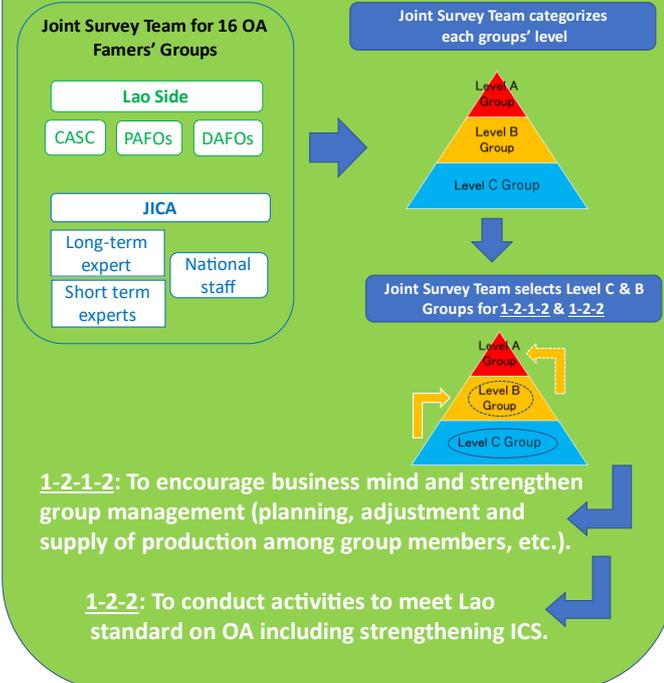
*To create functions for promoting CA in addition to sales of OA products.*



#### Activity 1-2:

Improvement of organizational structure and management of farmers group

**1-2-1-1:** To select target farmer groups.



#### 2-3: Stimulation of demand for CA products

- 1) To conduct activities for enlightening consumers on CA products
- 2) To promote participation in events

